

平成19年7月吉日

病院検査室 精度管理責任者 各位  
登録衛生検査所 精度管理責任者 各位

(社) 愛媛県臨床検査技師会  
会長 土居 修  
精度管理委員会

**平成19年度（社）愛媛県臨床検査技師会  
臨床検査データ共有化事業実施にあたって**

拝啓

盛夏の候、先生におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は社団法人愛媛県臨床検査技師会活動の推進にあたり、格別のご協力をいただきありがとうございます。

さて、この度日本臨床検査技師会は「検査データの信頼性の保証と、それによる国民に対する医療貢献」をテーマとして、臨床検査データ共有化に向けて全国的に実践展開される事となりました。

その背景には厚生労働健康局の「標準的な検診・保健指導プログラム」や平成20年4月から実施されるメタボリックシンドローム検診の開始が上げられます。

そこで今回、愛媛県臨床検査技師会としてもこの事業に同調し、臨床検査データ共有化事業を推進したいと考えておりますのでより多くの施設の参加を期待しております。

実施要項は臨床検査データ共有化マニュアル（医学検査vol.55 No.11 2006）に従って基幹施設による精度管理試料への値付けを行い、その値を共有化し各施設が活用する事にあります。

対象となる検査部門は臨床化学、免疫血清、血液の3部門でメタボリックシンドローム検診項目を含む多くの項目で行う予定であります。

会員諸先生方の多くの賛同を得て推進したいと思っておりますので御協力をよろしくお願いいたします。

敬具